



稲穂のさとし

あたりまえのことがあたりまえにできる学校

吉見町立吉見中学校
学校だより 第5号
令和7年7月18日

文責 校長 橋本 慎也

もう一つの履歴書～SNSにどんな足跡を残しますか

ICTが発達し、SNSは私たちの生活に欠かすことができないツールとなりました。これにより、コミュニケーションの効率が格段にアップしただけでなく、私たちが共有したいと思っている意見やものを世界中の人に発信することができるようになりました。

その一方で、SNSで発信した情報は、削除しない限りはインターネット上や他の人の端末に残り続けます。また、閲覧者が保存した情報や拡散された情報は、後から削除するのが困難であり、半永久的に残り続ける「デジタルタトゥー」となります。

私は、中高生がSNSを使用するに当たり、いつも心配していることがあります。それは、中学生や高校生の時に発信した何気ない書き込みが、数年後の自分を苦しめる可能性があるということ、また、そのことを知った上でSNSを使用しているかということです。

SNS上での友達への軽い冗談が、いじめや差別と捉えられることもあります（勿論、書き込まれた本人がいじめや差別と受け止めていることもあります）。ふざけて撮った写真が、大人になってからの評価や信頼を左右する可能性もあります。過去の投稿が原因で誤解を招いたり、説明を求められたりする場面に直面することもあります。

私たち大人でさえ、判断を誤ったり、感情に流されたりすることがあります。成長の途中にいる子供たちなら、なおさらです。こうした失敗が後まで残り、本人だけでなく無関係な人々まで巻き込み、大きな問題へと発展してしまうのが、SNSトラブルの特徴と言えます。

夏休みを迎えるにあたり、普段以上にSNSを使う機会が増えると思います。「SNSはもう一つの履歴書」と言われる意味を考えながら、御家庭でも今一度SNSとの付き合い方について考えていただきたいと思います。

スマートフォンを持つことは「発信者」になることを意味します。自由とともに責任が生まれることを、是非心に留めてほしいと思います。



模範生徒表彰（稲穂賞）

「稲穂賞」とは、全校生徒の良き手本、見本、模範となるような行為を着実に実行している生徒を認め、生徒間に規範意識を一層行き渡らせるという目的で、平成20年度に導入されたものです。

この「稲穂賞」の選出は学期に1度行われ、先日の学年集会で表彰しました。今後、さらに模範となる行いが広がることを期待しています。

受賞者	1組	2組	3組
1年	青木 柚樹	坂下真奈己	森尾 桐斗
2年	伊與田陽彩	安藤 航太	前田 ゆか
3年	福田 稜	島田 曜	渡邊虎太郎

吉見中生の活躍

○硬筆中央展覧会（県展）

推薦賞

2年 小高 寛子 2年 中原 雅姫

○比企地区硬筆展覧会

推薦

2年 小高 寛子 2年 中原 雅姫

特選

1年 岩田 紗奈	1年 長峰 朱里
1年 小川 陽咲	1年 田邊 唯
2年 田村 夏音	2年 佐藤 美魅
2年 吉澤 結奏	2年 榎木 蒼大
2年 島田 羽琉	2年 原 絢音
3年 川端 明来	3年 長谷川あか李
3年 大津 一恭	3年 小林 璃音
3年 荒木日菜子	3年 金澤 咲良
3年 松本 空也	3年 久保田 怜
3年 金久保仁菜	3年 塚田 梨央

優良

1年 行徳 心優	1年 岡安 琉華
1年 小川 奏汰	1年 菊野 莉愛
1年 舟橋 幸大	1年 岡野 有紗
1年 福井 瑞	1年 岡安 惺音
1年 山口 和音	2年 小川 碧音
2年 寺坂 春音	2年 大奈良 魁
2年 宮崎 志帆	2年 高澤 心和
3年 山崎 泰雅	3年 神田 陽南
3年 片岡 想誠	

9月の予定

日	曜日	行事
1	月	始業式、あいさつ運動、10:45下校
2	火	給食開始、新時間割開始
3	水	避難訓練⑥
4	木	3年比企学力テスト①
5	金	45分×6h、学力向上の日 3年武蔵丘短期大学中大連携事業
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	新人比企予選（陸上）
11	木	専門委員会
12	金	生徒会企画⑤⑥
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	45×5h
17	水	
18	木	3年福祉体験⑤⑥
19	金	1年保護者会(林間学校)
20	土	理科展
21	日	
22	月	生徒朝会（壮行会）
23	火	秋分の日
24	水	新人比企予選、学年日課2h、 給食なし、吹部西小出前演奏
25	木	新人比企予選、学年日課2h、 給食なし、吹部東二小出前演奏
26	金	新人比企予選、学年日課2h、 給食なし
27	土	新人比企予選
28	日	
29	月	
30	火	3年比企学力テスト②